

2021年3月15日

## 第18回広島県NIE教育奨励賞の決定について

広島県NIE推進協議会 事務局

広島県NIE推進協議会（会長・朝倉淳 安田女子大教授）は、優れたNIE活動を実践している個人・学校に贈る「第18回広島県NIE教育奨励賞」の受賞者（学校受賞を含む）を決定しました。賞は、最優秀に当たる「優秀奨励賞」1点と、「奨励賞」10点です。

広島県内の学校を対象に、2019年4月から2020年12月までに実践されたNIE活動を募集。今回は、40点の応募がありました。審査は、朝倉会長を委員長に、県NIE推進協の役員ら7人で行いました。

受賞者の一覧は、次ページに掲載しております。なお、受賞者の所属校は実践時です。

## 第18回 広島県NIE教育奨励賞受賞者（2021年3月15日発表）

※受賞者の学校名は原則として実践時の所属校

賞	受賞者(敬称略)	学校名	タイトル
優秀奨励賞	尾道市立美木原小学校	尾道市立美木原小学校	NIEで「調べる!」「まとめる!」「伝える!」
奨励賞	米井 公介	呉市立昭和北小学校	地域社会にひらくNIE
奨励賞	江田島市立中町小学校	江田島市立中町小学校	自分の考えをもち、自分の言葉で考えを伝え、行動する児童の育成 ～授業におけるICT及び新聞の効果的な活用を通して～
奨励賞	崎田 朋子	安芸高田市立美土里小学校	令和元年度NIE実践報告 ～主体的に学び続け、自らの思いが表現できる児童の育成～
奨励賞	府中市立栗生小学校	府中市立栗生小学校	新聞を読む 新聞で読む ～論理的思考力とコミュニケーション能力を高める～
奨励賞	田中 征治 梶田 真由美 丸山 進	広島市立可部中学校	～複数の新聞記事を通して、社会的事象に対する自己の思考を深め、集団の中で自己の意見を表明できる情報リテラシー能力の育成を図る活動へ～
奨励賞	上山 朋子	盈進中学校	中学校キャリア支援におけるNIE活動の実践報告
奨励賞	為重 慎一	広島国際学院中学校・高等学校	「職業写真 私の仕事未来予想図」 ～生徒の15年後の職業像をNIEで描く実践活動
奨励賞	池田昂樹 原之園和哉 橋倉彰宏 熊谷篤	安田学園 安田女子中学高等学校	情報科と地歴公民科における新聞コンクールを活用した意見形成の充実を意図した授業実践 —コンピューターリテラシーの向上と意見の深まりの両面を意図して—
奨励賞	鶴田 輝樹	広島大学附属中・高等学校	歴史的な見方・考え方を育成するNIE授業の開発 ～データベースを活用した壁新聞づくりを中心として～
奨励賞	藤居 真路	広島県立尾道商業高等学校	商業高校における思考力、判断力を高める新聞活用 —活用場面と関心分野の関係を調べて—

2021年3月15日

## 《第18回広島県NIE教育奨励賞 講評》

審査委員長(広島県NIE推進協議会長)  
朝倉 淳(あさくら・あつし、安田女子大学教授)

審査を終えて、NIEの可能性が一層拡大しているように感じています。NIEとして特徴的な「読解力」「表現力」に加え「主体性」「思考力」「発信力」「コミュニケーション力」など様々な能力の育成につながっており、活用法も教科等の授業から委員会活動やキャリア教育、環境構成にまで発展していました。ICTやAIによりコミュニケーションが激変する中、多様な世界で生きる市民性や社会性を培うNIEをどう展開すればよいのか。レポートには、新しいチャレンジの種や芽生えが見られました。

2年連続で優秀奨励賞を受賞した尾道市立美木原小学校は、学校全体でNIEに取り組んでいることが特徴的です。教職員や子どもたちが、校内のいろいろな場所に「コーナー」をつくり、注目記事や各紙の一面読み比べ、日本各地の新聞などを掲示しています。また、各教科等での活用や全校での取り組みも活発です。新聞を活用した学びの環境と雰囲気がつくられ、新聞を通して世界に接することが慣れ親しんだ日常になっていることが分かります。

奨励賞の各受賞校では、学校の特色や子どもたちの実態を踏まえて新聞が活用されていました。前年の成果と課題に基づき、持続的に実践を発展させている学校もあります。教職員と子どもたちがNIEを共に楽しんでいる様子が伝わってきます。

いま世界は激動の中にあります。これから大切になるのは、問題を広く深く鋭く捉え、実行する力です。新聞はそうした力が育つ重要なメディアであると確信しています。これまでに開発された活用法に新しく柔らかな発想が重なり、NIEが子どもたちの一層の成長につながることを期待しています。